△1　22.05.17

第6381回 ＱＣサークル関東支部

運営事例選抜大会

主　催：ＱＣサークル関東支部　　後　援：ＱＣサークル本部・(一財)日本科学技術連盟

関東支部内の各地区から推薦された「地道な努力とチャレンジ精神、人と人との絆、ベテランの知恵・工夫と若手の成長、改善力の向上と固い団結力など活動を通した日頃の成果」を発表します。

また、2022年11月2日に開催される「第52回全日本選抜ＱＣサークル大会（小集団改善活動）」への代表サークルを選抜します。

◆日　時：2022年　7月15日（金）　10：15～14：40（受付9：55 ～ ）
◆会　場：埼玉会館 小ホール　（ハイブリッド開催）［埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4］
（ハイブリッド開催・・参加希望者は、会場とWebのどちらかを選択して聴講できます）
◆参加費：4,000円／人　（昼食はありません）
◆参加募集人員：350名
申込締切：2022年　7月　5日（火）　＊現金払いによる当日受付も承ります。
申込方法：下記 URLよりお申込下さい。（QCサークル関東支部HPからも申込URLへ入れます。）
① 申込URL　https://forms.office.com/r/5c2F79kvpt
② QCサークル関東支部HP　https://qc-members.jp/kanto

お申込み後、参加費用の請求書と参加証をメール送付いたします。
（Web聴講の方にはメール本文を送付予定　※Microsoft Teamsの会議参加リンク付き）
参加費用は本大会の開催をもって大会後請求させていただきますので
指定の金融機関に参加費をお振込み下さい。

≪特別講演≫

中條武志氏　（中央大学 理工学部 ビジネスデータサイエンス学科　教授）

『ヒューマンエラーによるトラブル・事故を防ぐ』

人がうっかり忘れたり、間違えたりするヒューマンエラーは、多くの職場で品質トラブルの原因の半分以上を占めています。他方、その対策については、必ずしも正しい方向からアプローチできていません。

本講演では、ヒューマンエラーによる品質トラブル・事故を防ぐためには、人以外の要素を工夫する「エラープルーフ化」の考え方が重要です。その上で、エラープルーフ化の対策を考案する場合に有効な原理とその活用方法、エラープルーフ化をそれぞれの職場で進める場合に有効なツールについて紹介します。

◎プログラム◎

9:55	～	10:15	会場受付
10:15	～	10:30	オリエンテーション 開会挨拶　等
10:30	～	12:00	体験談発表（休憩含む）
12:00	～	13:15	昼食休憩
13:15	～	14:05	特別講演
14:05	～	14:40	審査結果発表・表彰式 閉会挨拶

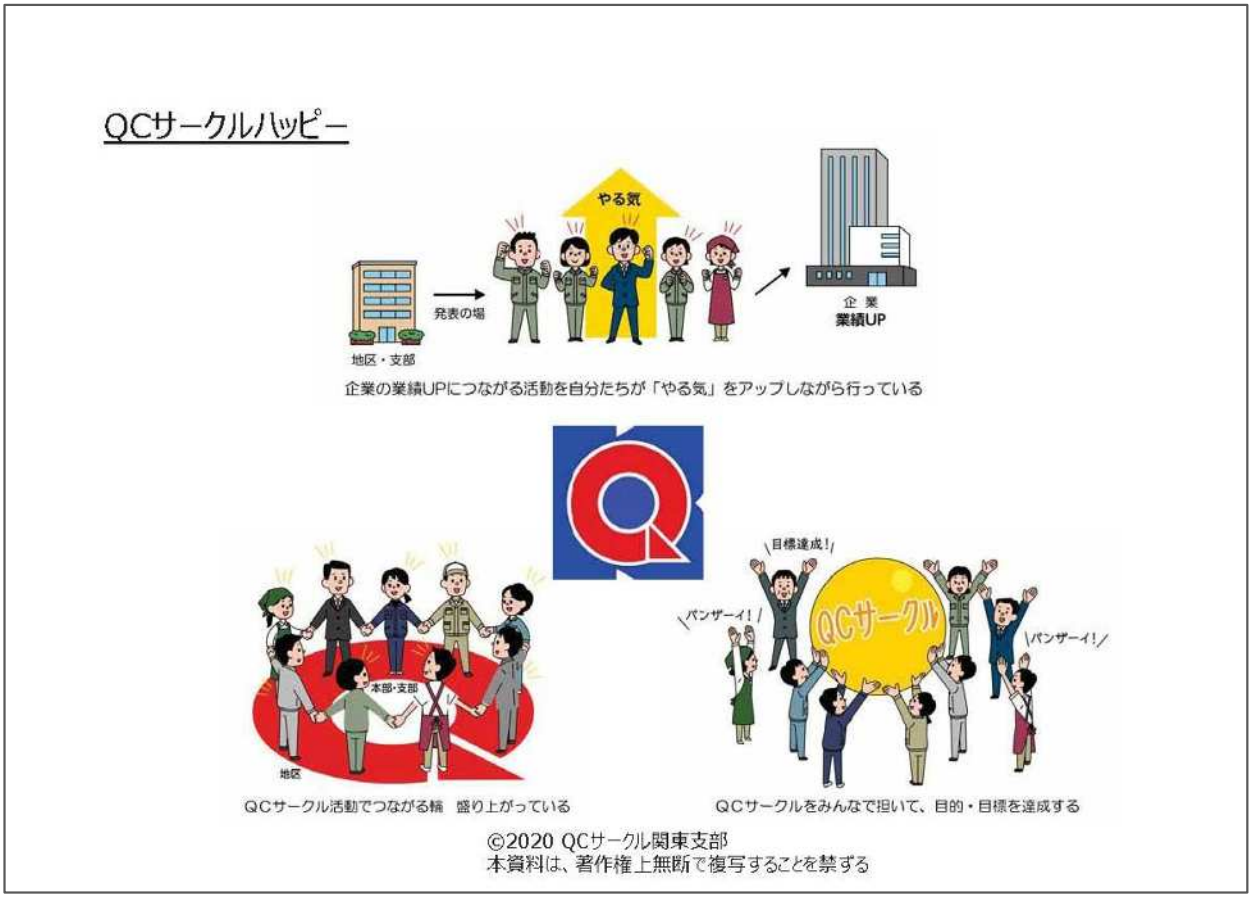
会場案内

☆ＪＲ浦和駅（西口）下車　徒歩6分
☆お車でのご来館はご遠慮下さい。

問合わせ先

<<大会事務局>>　2022年度 関東支部事務局
株式会社IHIエアロスペース　人事部　仲重／生産センター　原島
〒370-2398　群馬県富岡市藤木900
ＴＥＬ ：0274-62-7606／7835　　ＦＡＸ： 0274-62-7711　（当日：080-1151-7205）
e-mail：qcc_kanto_fy22@iac.ihi.co.jp

見どころ・聴きどころ

			会社名／サークル	テーマ
10:30 ～ 11:10	1	京浜	日産自動車株式会社　横浜工場 ヨシダーズサークル	若手とベテランの共闘 ～三つの壁を乗り越えて～
			近年の省人化により若手とベテランの間には、コミニケーションの壁・作業の壁があり技能伝承がうまく出来ず低迷したサークルでした。QCリーダーを中心に活動していく中、コロナの壁が立ちはだかり、ベテランとの共闘により三つの壁を乗り越えたサークルが成長し続ける3年間の軌跡です。	
	2	栃木	日産自動車株式会社　栃木工場 ドア4サークル	「見て！聞いて！話す！」三猿の教えから実力をつけた三年間の物語 ～一人ひとりの個性から生まれた三猿ストーリー～
			ドア4サークルは半数以上が若手と新人の中途採用者(MCS)で構成されています。MCSの一人である中森がQCリーダーとなり、「一人一人自信を持って行動するサークルにしたい！」という思いから、活動を仕掛け、サークルの弱みを一つ一つ全員で克服して行きます。MCSならではの前職を生かした知識・技能をQC活動で活かし、サークルが成長している様子を三猿ストーリーにのせて紹介します。	
11:10 ～ 11:20			休憩	
11:20 ～ 12:00	3	茨城	株式会社日立ハイテクマニファクチャ＆サービス trust　Buicaグループ	「新型コロナウイルス消毒液不足を自社供給で感染リスク低減」 ～アルコール消毒液が街から消えた日　社内、グループ会社、協力会社の生産活動のピンチを救え～
			新型コロナウイルスの感染が拡大する中で、入手困難となったアルコール消毒液の自社供給に向け活動を行いました。行政機関・品質保証部・総務部とも連携を図りながら1か月という短期間で目標を達成し、供給を継続することで生産活動のピンチを救いました。協議を重ね、課題を明確にして活動した内容を報告させていただきます。	
	4	神奈川	日産自動車株式会社　座間事業所 TAKUMIサークル	壁を越えろ！ ～ゼロから始めるサークル改革～
			モチベーションが低いサークル活動を、新リーダーのもとアドバイザーのサポートを受けながら、ゼロから土台づくりを始め、グループの壁、事業所の壁と年々ハードルを上げて乗り越えていく過程を品質保証技術のプロ集団として、事実とデータが裏付けられた改善で確実に成長した結果をご覧ください。	
12:00 ～ 13:15			昼食休憩	

関東支部ビジョン